

第40号

こうろく

～晃麓～

発行所: 栃木県日光市板橋2610-1

社会福祉法人 すぎなみき会

発行責任者 理事長 峯山 敏正

令和元年8月10日発行

Tel:0288-27-3100 Fax:0288-27-3700

E-mail:sugigaku@hyper.ocn.ne.jp

URL:http://www.suginamikikai.jp



目次

特集 横浜・東京

日帰り旅行 …2

平成31年度

思い出アルバム …4

施設長だより・すぎなみきト
ピックス …5

みどりのき 就労継続支援B型利
用者さんの工賃がアップ! …6

みつみね通信 …7

梅の実・梅のはな通信 …8

ホームページも
check!



雨が心配された6月9日、バス5台に分乗しまして横浜・東京方面への日帰り旅行へと出発いたしました。最初はポツポツと雨が降っておりましたが、皆の祈りが通じ、東京へと入る頃には何とか曇り空へと変化し、無事に観光を行う事ができました。

特集

6月

横浜

東京日帰り旅行

すぎなみき学園 — 羽生パーキングエリア — よこはま動物園ズーラシア

梅の実 合流 見学 9:40~11:30

品川プリンスホテル

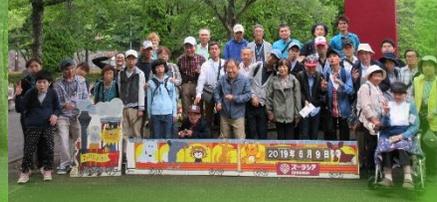
— リュクスダイニング ハプナ — マクセルアクアパーク品川 —

昼食 13:00~14:30 見学 14:30~16:40

羽生パーキングエリア — すぎなみき学園
梅の実



正式名称は「横浜市立よこはま動物園」。「ズーラシア」という名称は、動物園（Zoo）とユーラシア（Eurasia）を合わせた造語で市民公募によって選ばれました。



皆さんに聞きました!

1位 さる

2位 ぞう

3位 ライオン

一番心に残った動物は?



まず午前中はよこはま動物園ズーラシアへ行きましました。広い園内を回るのは大変! アシアからスタートして世界一周をイメージした順路になっていました。最奥のアフリカまで行けた人はいたかな?

「ハプナ」はハワイ語で「水の湧き出る命の泉」という意味。緑豊かな観葉植物に包まれた店内はリゾート地にいるような気分でお食事が楽しめます。総席数400を超える広々とした店内は、華やかな音と光、映像による演出、ライブキッチンでのパフォーマンスと様々な仕掛けが満載！



皆さんに聞きました!



一番おいしかった料理は?

1位 **お寿司**

2位 **デザート
ローストビーフ
パスタ**



お昼は和・洋・中・スイーツと様々なジャンルの料理をbuffet形式で楽しめる、品川プリンスホテルリュクスダイニング「ハプナ」様でいただきました。これが一番の楽しみだった皆さんも多かったはず! ローストビーフやカニの食べ放題など思い思いの料理を満喫していらっしゃいました!



皆さんに聞きました!

1位 **人とのジャンプ**
2位 **水・光**



イルカショー
凄かったのは?

品川プリンスホテル内にある水族館を中心とする屋内型テーマパーク。大人気の音と光のファンタジーイルカショーの他水族館での貸切パーティーやウェディングも行われています。人気のクラゲのエリア「ジェリーフィッシュランブル」、ロマンチックな海中トンネル「ワンダーチューブ」もおすすめ!



美味しいお昼の後は水族館で夢の世界へ。美しいクラゲのエリアや可愛い小魚、珍しい魚のエリアを堪能した後は、メインのファンタジーイルカショー! 前から4列目までは水がガンガン飛んでくる派手なショーで、人気のリトルグリーンモンスター音楽に乗って光と音のコラボレーションが最高でした!!

担当係より



当日は、総勢180名での旅行となりましたが、皆さんのご協力のおかげで大きなトラブルもなく過ごす事ができました。これからも楽しい旅行になるよう職員一同企画を練りたいと思います。参加していただいた皆様お疲れさまでした。

すぎなみき学園
主任 太田 智大

3月

ひな祭り会



今年も音楽クラブと合同でひな祭り会を行いました。みなさん自分の好きな曲を音楽クラブの大嶋先生に伴奏してもらいながら歌ったりとても楽しい会となりました。また昼食には特別メニューをみなさん美味しそうに食べていました。



平成31年度

思い出アルバム

上半期の行事の思い出です。



4月

お花見会

今年は学園近くの乗馬クラブに咲いている桜を散歩がてら見に行きました。今年の桜は例年より開花が少し遅く、満開の桜…とまではいきませんでした。きれいな桜を見ることが出来ました。



7月

七夕会



今年も音楽クラブと合同で行いました。音楽クラブの大嶋先生の伴奏で七夕さまの歌を歌ったり、リクエスト曲を歌ったり、曲当てクイズも行い、とても楽しい会となりました。みなさんの短冊に書いた願い事が叶いますように…☆



7月

サマーミニフェスタ With Pizza !



新しく購入したわたあめ機!



今年のピザ会は7月に開催だったので、サマーミニフェスティバルと合同で行われました。メインのピザ作りでは「美味しくなあれ」の気持ちを込めながら、生地にソースを塗ったり、チーズを乗せたりしました。今年はマルゲリータピザと明太ピザの2種類を頂きました!!ピザが焼けるまで待つ間は敷地内に設置されている輪投げなどのゲームを楽しみました。また今年購入したわたあめ機を使ってわたあめも楽しみました。今年もコンブリオ様のご協力のおかげで楽しい会となりました。ありがとうございました。



施設長だよ



地域共生社会への取り組み

社会福祉法人 すぎなみき会
理事長 峯山 敏正



日頃より当法人及び各施設への御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在国は2020年代初頭の「地域共生社会」の全面展開を目指し、各方面での改革を行っています。

地域共生社会とは『社会構造や暮らしの変化に応じて、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人・人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すこと』とされています。

1 地域課題の解決力の強化

- ① 住民相互の支えあいを強化する
- ② 包括的な相談支援体制をつくる

③ 地域福祉計画を充実する

2 地域を基盤とする包括支援の強化

① 地域包括ケアの理念 **↓** 高齢者だけでなく生活上の困難を抱える方への包括的支援体制をつくる

② 共生型サービスの創設

③ 市町村の地域保健の推進強化、保健と福祉の横断的・包括的支援の検討

3 地域丸ごとのつながりの強化

① 多様な担い手の育成・参画、民間資金の活用、多様な就労・社会参加の場の整備

② 社会保障の枠を超え、地域に「循環」を生み出す先進的取り組みを支援

4 専門人材の機能強化・最大活用

① 対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討

② 福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討

以上を踏まえ、栃木市の高齢者施設「みつみねの郷」の小規模多機能型居宅介護事業所が7月に共生型サービスの指定を受け、障害のある方も「通所サービス」をご利用いただけるようになるなど、法人としても現在対応を進めています。

今後の「地域共生社会の時代」に向け、ご利用者様の声（ニーズ）を的確に把握し、社会に貢献できる施設づくり、未来を見据えた法人経営に努めてまいりますので、御支援、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



初めての保育参観

6月14日にみらいのきにて初めての保育参観を行いました。当日は多くの保護者の方々にご集まりいただき、ありがとうございました。保護者の方々には、園児の午睡後から来園していただき、衣類の着脱等の普段の様子を見ていただく、「七夕飾り」の親子製作に参加していただきました。

保護者の方が活動を参観してくれる事を意識してか、子どもたちは、普段以上に張り切って取り組み、溢れんばかりの笑顔を見せていました。参観後の懇談会では、同年齢の子どもを持つ保護者同士で情報交換したりと和やかな雰囲気となりました。

今後も進級を意識し、より一層の成長「身の周りの自立」へつながるよう、全職員で導いてまいります。

みらいのき 保育士 北山恵子



調理のお知らせ

利用者様の嗜好調査について
毎月献立を作成する前に利用者の方々に来月は何を食いたいですか？と栄養士が調査し、献立に反映させています。様々な意見がありますが、少しでも利用者の皆さんの嗜好が反映されるように努力しておいしい給食作りを目指していきたいと思っております。皆さんの嗜好をランキングにしてみました。

厨房より愛を込めて



課長補佐 管理栄養士 網野京子

すきなみもトピックス

Bad 嫌いな食べ物

- 1位 野菜
- 2位 チーズ
- 3位 納豆、果物

野菜も食べな
あかんよ！

5

Good! 好きな食べ物

- 1位 ラーメン
- 2位 鳥の唐揚げ
- 3位 ハンバーグ



すぎなみき学園 副施設長

みどりのき 井上憲一

皆様、お久しぶりでございます。広報誌「こうろく」第35号依頼久々の登場です。さて、すぎなみき会では様々な事業を実施していますが、今回は多機能型障害福祉サービス事業所「みどりのき」で実施している就労継続支援B型（以下、就労B）の「平均工賃月額」についてふれてみたいと思います。

就労Bは現在、①主たる事業所（すぎなみきタウン内）②従たる事業所（すぎなみき学園敷地内）③出張所（道の駅日光商業施設内）と3ヶ所で事業を実施しています。その中でも主たる事業所で実施しているパン工房、カフェ、美容室、また出張所で実施しているカフェ、弁当・お惣菜の販売は平成29年12月から平成30年度に開始しました。

就労Bは現在、①主たる事業所（すぎなみきタウン内）②従たる事業所（すぎなみき学園敷地内）③出張所（道の駅日光商業施設内）と3ヶ所で事業を実施しています。その中でも主たる事業所で実施しているパン工房、カフェ、美容室、また出張所で実施しているカフェ、弁当・お惣菜の販売は平成29年12月から平成30年度に開始しました。

就労Bでは毎年度「平均工賃月額」を算出し県へ報告していますが、パン工房等を実施する前の平成27年度は八千七百一十円、平成28年度は八千四百四十四円と微増で推移し、年度後半にパン工房等を開業した平成29年度は一万六千五百九十九円と約1.3倍に伸ばしました。そして昨年平成30年度はと言いますと……な、何と

「三万三千百六十六円」となり約3.1倍と大幅に平均工賃月額を伸ばすことに成功しました。この額は県内の就労B事業所177事業所の中で8番目に多い額で日光市内では第1位となりました。

しかし課題もあります。様々な就労事業に取り組み、多くの職員を採用し配置した結果、就労Bの障害福祉サービスとしての事業収支は悪くなってしまいました。事業者が請求する就労Bの基本報酬は平均工賃月額によって定められていますが、昨年度これだけ平均工賃月額が上がっても今年度の基本報酬は10%弱しか上がりません。この辺りを、平成33年4月の次期報酬改定で、例えば平均工賃月額がある水準以上で職員配置が密な場合等を反映したものに望みます。

最後になりましたが、平均工賃月額をこれだけ伸ばす事ができたのは職員の努力、利用者さんの頑張りはもちろんですが、毎日パンを買いに来て下さる皆様やランチを食べに来て下さる方々のおかげであるとともに、出張所である「道の駅日光」の

増で推移し、年度後半にパン工房等を開業した平成29年度は一万六千五百九十九円と約1.3倍に伸ばしました。そして昨年平成30年度はと言いますと……な、何と誠に恐縮ではございますが本紙面にて感謝申し上げます。

【工賃向上計画対象施設（就労継続支援B型事業所）における工賃実績の推移】

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
対象施設数	142	153	162	177	
工賃支払総額(A) (円)	532,201,505	594,418,457	675,041,544	739,917,211	
対象者延人数(B) (人)	33,841	36,791	40,635	43,656	
工賃平均	月額	15,727	16,157	16,612	16,948
	時間額	188	194	195	208
増減額 (月額)	276	430	455	336	
対前年比 (月額)	1.8%	2.7%	2.8%	2.0%	

様々な場面で活躍しています!





みつみねの郷・NOW!!

〜各種サービスの紹介です②〜

みつみねの郷

施設長 高橋 勲



第2回目は「小規模多機能型居宅介護事業所みつみねの郷」の登場です。特別養護老人ホームみつみねの郷と

同じく平成20年7月にオープンし、12年目を迎えました。

小規模多機能型居宅介護は、今までの在宅福祉対策の三本柱である「ホームヘルプサービス」、「デイサービス」、「ショートステイ」の三つのサービスを一つの事業所で利用することができます（途切れなく、24時間365日提供する仕組みです）。同じ場所でのみねの仲間と過ごし、なじみのスタッフが介護にあたることから、認知症高齢者にとって不安や混乱が少なく、連続性のあるケアで安心感が得られ、在宅介護の切り札、在宅介護のエキスと言われています。

具体的には、食事が作れない方に「配食サービス」を行ったり、通院や買い物に同行することもあります。また、急に「通い」や「宿泊」、「訪問」が必要になっても、柔軟に対応することができます。

現在国は、「地域包括ケアシステム」において、全国一律ではなく、各地域で高齢化がピークに達する時を想定し、その地域が目指すケアシステム作りを進めています。ここでいう「地域」とは日常生活圏域を指しています。小規模多機能型居宅介護を含め、みつみねの郷の各種サービスが、栃木市や地域の皆様と協同し、地元寺尾地区（日常生活圏域）の福祉ネットワークの拠点になれるよう、努めてまいります。



お花見会



端午の節句



寺尾中生ボランティア活動



寺尾小2年生との交流会



夏まつり

地域の皆様との交流



七夕様



梅の実 のはな通信

新たな取り組み

梅の実・梅のはな

施設長 峯山直己



グループホーム
梅の実では、以
下のことに取り
組んでいます。

- ①新グループホームの建設。
- ②ウェブを活用した。情報公開、効率化

順に、具体的な内容を説明いたします。
まず、新しいグループホームですが、大きな特徴としては、1階部分に厨房設備を完備しているという事です。
設置する理由は、

- ①生活介護の事業所が手狭になってきた。
- ②栄養管理に力を入れていく。

現在の生活介護は、既存住宅を活用した事業所です。そのため、家庭的な雰囲気や、食事が強みであり、栄養管理にも力を入れてきました。結果、取り組みの

成果も出ており、高齢の利用者の体調も安定や、適正な体重管理に繋がっています。それをさらにテコ入れし、広さを確保するため、既存の厨房設備を移設し、強化していきます。

情報公開についてですが、現在は、地域向けの広報誌などを、地域の閲覧板を活用して、情報発信をしております。

今回、情報公開を、ウェブサイトを通して行うことで以下のような効果を見込んでいます。

- ①わかりやすく、選びやすい施設になる。
- ②自分たちの取り組みを見つめ直すきっかけになる。
- ③紙媒体で行ってきた情報公開の削減になる(説明会資料 月次報告書の削減)。

当事業所は、今まで紙媒体でサービスや取り組み内容を紹介してきました。しかしながら、現在はインターネット主流の時代です。時代の流れに合わせて、情報公開していきたいと考えています。そのため現在職員が主体的に情報公開できるような仕組みを構築しています。主体的に行うことで、自分の働く事業所のより深い理解に繋がります。スキルアップや働くモチベーションアップにつながればと考えています。



編集後記

時代は平成から令和へと移り、一発目の広報誌です。昭和生まれの私も、まさか三つの年号を渡るとは思っていませんでしたね～。いつか令和生まれの後輩とかが入ってくると考えると恐ろしい(;^_^A
今回は日帰り旅行の特集を組みました。利用者様も保護者様も、皆さんそれぞれの思い出を作っただけならば、職員一同幸いです。

広報誌担当

岩崎 大島(有) 大島(美) 出井 伊原